



南あわじ市

議会たより



▲福良の春祭り（4月4日）

主な内容

第31回定例会	P 2～4
委員会での議案審査	P 5～10
一般質問	P 11～18

一覧

	議決結果
少子対策と防災対策に プレミアム付商品券販売。	原案可決
後期高齢者医療、ケー	原案可決
任	原案可決
減額。9頁に関連記事)	原案可決
介護保険など全6件)	原案可決
ため、市の水道事業を廃 件)	原案可決
会の所管から外す条例	原案可決
	原案可決
料を8%カットする条例	原案可決
労働基準法等の改正に伴 割合を引き上げる条例	原案可決
を廃止する条例	原案可決
(働く婦人の家内にセン イア育成、情報提供など	原案可決
の方法にばらつきあり。 付与、整理。全2件)	原案可決
一部改正に伴い、所得に 改める)	原案可決
共済契約にも保険法を	原案可決
設の機械設備等の改築)	原案可決
(水稲、1,599戸、845,820	原案可決
	原案可決
組合規約の変更(組合議 長。執行機関に副管理者	原案可決
	同意、適任

22年度予算が決まりました



▲22年度の施政方針を表明する中田勝久市長

第31回定例会

第31回南あわじ市議会定例会が、3月1日(土)まで開かれました。冒頭、市長の施政方針表明が行われ、平成22年度予算をはじめとする執行部からの議案 40件、議員提出議案2件、教育委員の任命等の同意案件4件など46議案が提案され、すべて原案可決、同意となりました。

予算審査特別委員会

は、今議会から全議員によって、4日間にわたり従来に増して入念に審議しました。小さいながらも一つの議会改革の動きでした。

22年度

予算の特徴

平成22年度一般会計予算は、総額で237億7100万円、特別会計は193億1615万円、合計430億8715万円の規模となっており、前年度比マイナス8.6%。引き続き「選択と集中」を推進する緊縮型となっています。

重点施策として、少子化と防災対策の強化に力点を置き、また昨年に引き続きプレミアム付商品券の発行、新庁舎建設基本設計に着手します。

議会で新庁舎建設の調査を始める

去る2月、市長が「新庁舎建設基本計画(案)」を策定し、4月以降、執行部により住民説明会が開催されています。庁舎建設は何十年に一度の市としての大事業。市民の負託を受けた議会として、新庁舎建設について調査・研究し、議論を重ねるため、議員全員による「新庁舎建設調査特別委員会」を設置しました。(4頁に関連記事)

市民参加で総意を

約2千万円を計上した新庁舎建設基本設計。私たち市民にとって大きな動きが開始されました。高齢化社会が進行する中、市民サービスの維持が図られるのか、『市民交流センター(仮称)』の内容は?等々市民の皆様も大きな関心を持たれています。

私たち議会も、あらゆる角度から調査・研究し、議論を深めていく所存です。市民の皆様も住民説明会等を通して、この大事業に参画していただきたいと思います。

市民の総意で、建設的な様々な意見を出し合いながら前進していきましょう。

議員提案

新庁舎建設調査特別委員会
を設置

新庁舎建設とは

市が策定した新庁舎建設基本計画(案)によると、緑・西淡・三原・南淡の4つの分庁舎を廃止し、中央庁舎周辺に新庁舎を建設する計画です。

併せて、市民サービスの補完・公民館・地

区コミュニティ支援機能を合わせ持った「(仮称)市民交流センター」を市内21箇所を設置するものです。

市民の負託を受けた議会として、本件を調査研究し、議論を重ねるため、「新庁舎建設調査特別委員会」を設置

しました。
▽設置期間 調査が終了するまで
▽委員 19人

委員長 蓮池洋美
副委員長 柏木剛

廣内孝次 谷口博文
久米啓右 出田裕重
原口育大 阿部計一
楠 和廣 印部久信
熊田 司 森上祐治
中村三千雄 砂田泉洋
北村利夫 蛭子智彦
登里伸一 長船吉博
小島 一

新庁舎建設関係予算計上に反対
修正動議提出されるが否決

6人の議員から22年度一般会計予算の内、新庁舎建設基本設計業務委託料1980万円等を減額する修正動議が提出されました。

修正動議の提案説明

議会で新庁舎建設調査特別委員会が立ち上がったところであり、市民説明会もまだこれからです。方向性が明確に定まっていな段階にも関わらず、当初予算に建設基本設計契



約委託料を22年度1980万円、債務負担行為2020万円を予算明示することは拙速であり、議会と市民軽視の執行部の姿勢であり、その修正を求めます。

討論

議案に対して賛否の意見表明「討論」がありました。その要旨を掲載します。

21年度一般会計補正予算
反対 蛭子智彦

今回の補正予算は、市民生活にとって積極的な内容を持つと同時に、地方自治法に照らして必要な手続きをふまえず設置されている組織への報酬が削除されない問題を持っています。

違法、不適切な支出に対して目をつぶることも一つの選択肢であるかもしれませんが、法を守るといふことを最優先事項と考へ反対いたします。

22年度一般会計予算
賛成 久米啓右

市民生活最優先との立場から賛成との立場を表明します。予算(案)には問題点も散見されました。人形会館の瓦、バイオマス、経費削減、コンプライアンスの問題等で

す。

しかし今は市長の掲げた市民生活の安心安全、地元産業の発展、少子対策、健康福祉等の施政方針を早急に実施する必要があるのでこのことから賛成といたします。問題点については委員会で確認していくこととします。

22年度国民健康保険特別会計予算
反対 蛭子智彦

市内の経済は悪化の一途であるにも関わらず、国保税を下げるという姿勢がみられません。国保加入者は年金生活の高齢者、農漁業従事者、中小の店主、失業者など経済基盤の弱い人が多く、特別の支援が必要です。サラリーマンの保険料を上げ、国保への負担を増やしています。市民負担の増だけでは解決できません。

22年度後期高齢者医療特別会計予算
反対 蛭子智彦

国は即時廃止の約束を守っていません。保険料値下げ支援が見直され、国の責任を回避、老人への差別医療、受診抑制も行われつつあります。広域連合の議会では国の負担を求める請願が採択されませんでした。南あわじ市からの代表議員は欠席しています。高齢者の痛みを受け止められない予算には賛成できません。

22年度介護保険特別会計予算
反対 蛭子智彦

現役世代の負担を増やし、介護を受けるものと負担するもの対立を助長しています。介護従事者の処遇改善への取り組みも検証されず、市の担当は県任せの姿勢にとどまっています。認定制度の変更で、必要な介護を受けられない方が増えています。国民の負担は増やされているのに制度に欠陥があり、賛成できません。

予算を審査

別委員会で審査しました。



予算審査特別委員会

22年度予算の審査は、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって審査を行いました。

平成22年度
一般会計予算

歳入

地方交付税

普通交付税・特別交付税の違いは、

また、23年度収支バランスの均衡とはどんな状況のことか。

国は、前年度より地方交付税1兆1千億円増額、市税が1億6千万円減となっており、交付税でカバーされることとなっている。

市民税、個人では総所得のうち、給与所得が80%強を占めているので、21年度は20年度と比較して、12億数千円減となっている。

予算審査特別委員会

委員長 出田 裕重

副委員長 柏木 剛

廣内 孝次 谷口 博文

久米 啓右 原口 育大

阿部 計一 楠 和廣

印部 久信 熊田 司

森上 祐治 中村三千雄

砂田 泉洋 蓮池 洋美

北村 利夫 蛭子 智彦

登里 伸一 長船 吉博

小島 一

譲与税交付金関係2億7300万円減、交付税6億8900万円増、臨時財政対策債の発行が5億9800万円となっている。

歳出

■コピー代金

問 コピー機保守管理委託料、全般で2570万円計上されているが、内容は。また、削減意識をもって計上さ

れているか。

答 複合機も含め、93台を7社見積もりで3社と契約しており、枠配分の中で計上している。1台月当たりの固定費は6千円程度。使用枚数により単価は違うが、1枚当たりモノクロで1.8円〜2.5円、カラーで14円〜20円。

■補助金

問 各種補助金を予算化するにつけての基本

的な考え方は。

答 旧町より引き継いだものが多い。団体の運営補助金、個別の事業補助金があり、要望のあるものもある。

■LED導入

問 街路灯の照明にLED導入の計画は。

答 まだ、価格が高いため、採用には至らないが、庁舎で試験的に予算要求の中で蛍光灯40ワを計上している。

■電算システム

問 電算システム保守管理及び各種庁舎管理に関する委託料の削減の努力は。

答 電算システムについては、合併前、5社のプロポーザルで選定しており、委託料はほぼ横ばいである。業者が限られ、業務が増えている中、削減に向けた単価設定をしている。

また、庁舎管理に関する委託料は、市内業者で出来るものは市内業者で、3年間の長期契約を結び19年度比15%減としている。

■新庁舎建設

問 新庁舎建設基本設計業務委託料につき、景気の悪いとき、また、将来的に3市合併も考えられる中、無駄になるのではないか。

答 5庁舎での問題点、分庁舎老朽化による安

全面、複雑な問題に関する市民サービス、合併特例債の活用、21小学校区に市民交流センター設置、これら総合的に判断し、新庁舎建設のほうに、財政負担が少なく、今回提案させていただいている。

また、仮に3市合併となった際でも、淡路島南部の拠点の庁舎となる。

■外出支援

問 新庁舎建設に係る住民の意見は。

答 住民説明会で、住民の意見を反映させるべき内容は基本設計に反映し、建設に向けて。

■外出支援サービス

問 外出支援サービスを受けるには、どんな手続きか。また、社会参加への基準は。

答 障がい者分と高齢者分に分けており、通院などのタクシー代等、市内タクシー会社、社会福祉協議会に委託を

する。総合窓口で申請、利用券の交付となるが、電話で相談していただき、郵送での申請等も行っていい。また、基準は明文化していないが、福祉関係団体主催行事への参加も個別で判断し、対象としている。

■緊急通報

問 緊急通報システムを設置している世帯は。また、独居老人宅などへの火災報知機設置補助は。

答 184世帯、在宅老人日常生活用具給付事業補助金で対応する。

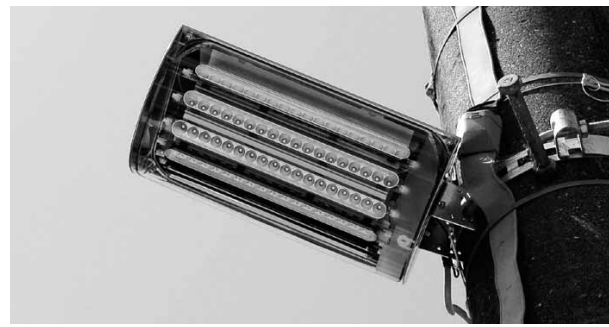
■少子対策

問 少子対策にトータルでどれだけ予算計上しているか。

答 福祉関係、教育委員会等を含め12億50万円。

■小児夜間救急

問 小児夜間救急診療



▲LEDの街路灯



▲福祉タクシー

業務の委託料、夜間10万円、現状はどうか。

また、ベッドの確保は。

答 県病も医師確保に苦慮しており、一次医療は3市でとのことであり、22年度10万1500円となる。19年度4767人利用、20年度輪番制で2884人が利用。8床確保で年180万円となる。

■地域振興券

問 元気だそう商い応援振興券の販売時期、有効期限は。

答 7月1日から3日もしくは5日間で販売し、有効期限は12月末までを予定している。

■淡路人形会館建設

問 人形会館建設の入

行い、多様な食材を食べていただいで、食育を行っている。

平成22年度国民健康保険特別会計予算

問 国や県の支出金が減り、前期高齢者交付金が増えているのは。

答 前期高齢者交付金

所得を100分の30とみなす措置がとられ、それが軽減判定となる、新たな軽減制度である。

平成22年度後期高齢者医療特別会計予算

問 保険料率は。

答 所得割8.07%が8.23%に、均等割は4万

活用され、抑制された。

平成22年度ケーブルテレビ事業特別会計予算

問 教育のできる番組を、淡路三原高校放送部の番組を放送しては。

答 教育委員会とも協議、内部で検討する。また、淡路三原高校に

平成22年度下水道事業会計予算

問 工事の進捗率、接続率は。また、料金改定は。

答 進捗率21年3月末で69.2%、接続率22年2月末で57.7%、加入率を上げ、妥当な使用料、税が負担すべき部

総務常任委員会

特別職の職員で常勤のもの・教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 市長・副市長・教育長の給与について、特別職報酬等審議会で審議されているが。

答 相応の額が答申されたらその額をもって対応する。

平成21年度一般会計補正予算(第6号)

歳入

問 地域活性化・きめ細かな臨時交付金2億9713万9000円の支出の内訳は。

答 保育所耐震改修事業、海釣り公園改修事業、公民館改修事業、

南あわじ市神戸寮条例及び南あわじ市神戸寮使用料徴収条例を廃止する条例制定

問 神戸寮の現在の収支の状況と残存価格は。

答 平成19年度は、25名の入居で378万6

温水プール空調機器等修繕事業、美術館大規模改造事業など13事業に活用する。

問 理科おもしろ推進事業委託金について。

答 県から委託され今年度初めて取り組む事業で、小学校10校での事業実施に伴う10人の支援員の人件費が主なものである。

問 人形会館建設のための寄附金の目標額は7900万円としており、この額をオーバーすると基金の持ち出しが減ることになる。

問 資源ごみ売却料減額の理由は。

問 ふるさと南あわじ応援寄附金の使途は。

答 平成22年度も引き続き寄附を募り、人形会館建設及びその他事業に充当させていただくこととしている。

問 デメリットはない。売却についてどのように取り組むのか。

答 公募入札により売却予定。

問 アルミの売却額を450万円と見込んでいたが実績は約300万円、新聞は単価を17円4銭と見込んでいたが3円に暴落したため1230万円の見込み額が154万5000円となったことなどが減額の主な理由。

問 らん・らんバスの時間帯やコースの見直しに利用者の意見が反映されているのか。

答 4月のダイヤ見直しについては、地域公共交通会議に利用者も入ってもらい検討を行っている。



▲らん・らんバス



▲沼島汽船

文教厚生常任委員会

問 売却についてどのように取り組むのか。

答 公募入札により売却予定。

南あわじ市子育て学習・支援センター条例制定

及び4箇所のセンターの年間利用者数について。

問 デメリットはない。売却についてどのように取り組むのか。

答 公募入札により売却予定。

問 南あわじ市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定

問 所得による給付制限で、市町村民税の所得割額23万5千円は、夫婦と障がい者という家族構成では、どれくらい減額できるか。

答 沼島診療所の減額が主で、平成20年度決算との比較では大きな減額ではない。患者数減少には色々な要因がある。

平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

問 直営診療所勘定の外来収入1224万3千円減額について。

答 沼島診療所の減額が主で、平成20年度決算との比較では大きな減額ではない。患者数減少には色々な要因がある。

平成21年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

の仮申請として提出する額で5月に調整交付金の額が確定する。

問 食の自立支援事業の内容と伊加利ライサービスの特殊浴槽改修工事の実施時期について。

しについては、地域公共交通会議に利用者も入ってもらい検討を行っている。

歳出

問 新型インフルエンザワクチン接種料軽減事業の実施状況は。

答 対象者9931人のうち接種者は1713人で、優先接種できる時期にワクチンの製造が間に合わず、接種できるようなになった時点では積極的に接種する人が少ない状況であった。

問 沼島汽船株式会社赤字欠損、市として赤字を改善する方策を考えているか。

答 地元住民を含めた離島航路研究会を年1回開催し利用者の意見を聞いている。神戸海運局では21年度から離島航路改善協議会を立ち上げ、また、沼島汽船には市から随時指導を行っている。

問 行財政改革審議会の設置根拠は。

答 執行機関の付属機関は地方自治法により条例で定めることとなっているが要綱により設置している。

問 条例に基づかない審議会への報酬の支出は適法か。

答 報酬条例に基づき支出をしている。地方自治法の規定に定められている手続きを経ていない組織については、それにあたるかどうか調査をする。



▲インフルエンザ予防接種(イメージ)

産業建設常任委員会

南あわじ市農業共済
条例の一部を改正す
る条例制定

問 条例改正による農
業者のメリットは。

答 告知制度、保険契
約時の書面交付、重大
事由の規定などの欠如
していたものが規定さ
れ、契約者にわかりや
すいものとなった。

平成22年度農業共済
事業に係る農作物共
済無事戻金の支払い

問 支払いした共済金
の額は。獣害対策に充
てることはできないの
か。

答 21年度は約223
万円。農業災害補償法
に基づいて行われるも
ので、獣害対策に充て

平成22年度農業共済
事業に係る事務費の
賦課総額及び賦課単
価

問 島内他市と家畜共
済の賦課金の割合が違
う。同額に変更できな
いか。

答 洲本市と淡路市は
淡路広域で運営。乳用
牛は0・9%で同額、
肉用牛等は南あわじ市

ることはできない。

の方が0・2%高い。
賦課金は事務費に充て
るもので、業務費用を
どのように考えるかに
より変わってくる。

市道路線の廃止、
認定

問 賀集100号線の
起点部分の地番表記に
ついて、1005地番
の地先で20畝余りある
が法的にクリアできる
のか。

答 賀集100号線の
起点部分の地番表記に
ついて、1005地番
の地先で20畝余りある
が法的にクリアできる
のか。

問 路線の延長は約88
畝、表記の仕方として
直近の1005地番を
とっている。

問 阿万吹上地区の路
線の廃止にあたり地元
に説明をしているか。

答 地元自治会に確認
を取らずに廃止したこ
とについては市に落ち
度があった。

問 市道路線の廃止、
認定の基準は。

答 道路法では、南あ
わじ市一体としての道

路網が求められており、
一体とするために現在
の路線網を廃止し、あ
らためて市全体の道路
網を策定した。

平成21年度
下水道事業会計補正
予算(第3号)

問 事業の進捗率と、
現在整備が残っている
地域は。

答 整備率は平成21年
4月現在で69・2%、公
共下水道事業での整備
は9区で、完了してい
るのは阿万地区のみで
8地区の整備が残って
いる。集落排水及びコ
ミュニティプラント事
業はすべて完了してい
る。

問 総事業費と完成年
度は。

答 全体の事業費は約
800億円で現在の計
画では平成37年度完了
予定としているが、延
びる可能性がある。



▲産業建設常任委員会の審査風景



▲和牛の飼育(倭文)



▲松帆・湊浄化センター(平成23年3月供用開始予定)

問

行われました。
活質疑が行われました。



会派代表質問

正道・無所属クラブ

和廣 議員

問 民主党政権下での
地方自治体の財政含む
事業運営等の影響につ
いて。

21年地域雇用創出推進
費2億4000万円特
別枠、22年約4・7億
円前年比倍見込んでい
ます。交付税、全体約
3・5億増見込、特例
費で緩和の見通し。

形成の判断について。
市民交流センター設置
の活動予算化、地域性
を生かした活動支援に
ついて。

同意

教育委員会委員
古川 太郎(複列)
広田中学校長、三

会派代表質問

ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員



新庁舎建設に向けて

市長の熱意と決意は。

市長 ①財政健全化計画との整合性、財源的に自信を持てた。②市民を守る防災拠点としての総合的な司令塔の必要性を痛感。③分庁舎方式によるかさむ経費も大きな課題。④トップの市として誇りの持てる庁舎を作る。

農業の振興について

問 鳥獣被害に関する関係部局の体制強化策は。

農業振興部長 ①捕獲隊の増員、駆除体制のさらなる整備を図る。②農協、3市での連携も今後調整。③シカ肉の活用も、県の動向を踏まえ、調査する。**問** 人との共生をどう考えるか。
農業振興部長 生物の多



有害鳥獣被害の状況

様性を維持しながら、論鶴羽山系の環境づくりを考える。

問 農業の担い手育成及び支援策は。

農業振興部長 ①普及センターで総合的な就農支援センターを設置。新規就農者も3〜5名増えている。②「担い手育成農業講座」を中心に考えている。③働き手の確保も課題だが、受け入れ態勢が限ら

れている現状。ファームヘルパー制度等を参考に、多角的に検討していく。

教育と福祉問題

この他、交付税算入されてきている教育予算の問題、壇尻唄や人形浄瑠璃の副読本づくり、子どもたちへの学習支援等教育問題、また、福祉行政についても種々質問しました。

会派代表質問

市民連合・無所属クラブ 登里 伸一 議員



新庁舎建設は必要か

問 新年度予算は市債総額706億7200万円、基金が59億5300万円、市民1人当たり借金が135万4千円、貯金が11万4千円である。いま25億1700万円もかけて新庁舎を建設することが必要か。

現分庁舎は総て解体・売却とのこと、増々寂れて格差が開く、現方式ではなぜ駄目か。
足湯・バイオマス整備・人形会館等総てが大きく増額した。この件も検討委員会に20億5千万円と説明している。計画の金額は信頼できない。



窓口での接客風景（西淡庁舎）

市長公室長 分庁舎の耐震工事、維持費高、移動のロス、合併特例債（借金）の活用がで

きるからです。跡地は県や公共団体・民間への売却、駐車場など。また建設費の増加は、免震構造の採用とグリーン庁舎化への対応のためです。

問 これから自治体やるべき仕事は、地域再生と活性化である。

問 中条中筋旧国道との交差点に、信号機の設置を強く求める。

総務部長 20年度1人平均601万円。各種負担金合計で1人当たり157万円です。

職員の労働コストを引き下げ、無駄を省き、行政の生産性を高めて事業資金をつくり、地域再生に振り向けるべきだ。職員給与の平均負担金の現状は。

問 職員給与の平均負担金の現状は。

日本共産党 蛭子 智彦 議員



庁舎、直せば3億、新築11億

合併特例債を使えば、古い庁舎長寿命化で市

えがきません。改修なら3億円ですみます。11億円とは8億も違う。8億円あれば、低地対策や道路改良もできる。合併特例債と組み合わせればいい。新庁舎よりもすることがある。合併特例債を使つての耐震補強工事も



住民投票などで市民の判断を求めます。その他、慶野松原の浸食対策、高速道路無料化関連の質問を行いました。

会派代表質問

市民連合・無所属クラブ 登里 伸一 議員



新庁舎建設は必要か

問 新年度予算は市債総額706億7200万円、基金が59億5300万円、市民1人当たり借金が135万4千円、貯金が11万4千円である。いま25億1700万円もかけて新庁舎を建設することが必要か。

現分庁舎は総て解体・売却とのこと、増々寂れて格差が開く、現方式ではなぜ駄目か。
足湯・バイオマス整備・人形会館等総てが大きく増額した。この件も検討委員会に20億5千万円と説明している。計画の金額は信頼できない。



窓口での接客風景（西淡庁舎）

市長公室長 分庁舎の耐震工事、維持費高、移動のロス、合併特例債（借金）の活用がで

きるからです。跡地は県や公共団体・民間への売却、駐車場など。また建設費の増加は、免震構造の採用とグリーン庁舎化への対応のためです。

問 これから自治体やるべき仕事は、地域再生と活性化である。

問 中条中筋旧国道との交差点に、信号機の設置を強く求める。

総務部長 20年度1人平均601万円。各種負担金合計で1人当たり157万円です。

職員の労働コストを引き下げ、無駄を省き、行政の生産性を高めて事業資金をつくり、地域再生に振り向けるべきだ。職員給与の平均負担金の現状は。

問 職員給与の平均負担金の現状は。

正道・無所属クラブ 谷口 博文 議員



南あわじ市の将来ビジョンについて

問 我が国の子供達の未来・将来に大きな不



御原橋付近

市長公室長 将来的には防災センター、文化大ホール、行政機能の集約というような考え方も出てくると思いま

正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員



問 戸別所得補償制度の概要は。

農業振興部長 1点目は、主食米作付面積から1反分を除いた面積に対し、1万5千円／

1反が補助されます。2点目は転作に対し、1反当たりの所得補償を出すという制度です。

問 2点目の新規需要米で1反当たり8万円、加工米は2万円が補助されるが6万円の差は、**農業振興部次長** 新規

需要米の用途は米粉や飼料米等に限定され、加工米とは異なる。また、経費を除くと農家の手取りは米粉については3万円、加工米は2万8千円程度で、1反当たり2000円程

度の差である。**問** 市内に米粉の販売ルートはあるのか。また、品種の限定はあるのか。

農業振興部次長 福良に1社ある。しかし米粉の利用は麺やパンに限定されるので利用量が少ない。また、品種の限定はない。

問 農地法等の一部改正で農家に影響がある大きな項目は何か。**農業委員会事務局長**

一般法人等が農地を借りることができるようになった。また遊休農地に対する措置が強化された。**問** 一般法人が農業に

参加できる要件は。**農業委員会事務局長** 役員の1人が常時農業に従事すること。その他契約内容等がある。**問** 市内の農地を守るため、一般法人が利用



ほ場整備（大日川東Ⅱ期工事、高萩地区）

正道・無所属クラブ 阿部 計一 議員



問 現状の管理職体制について職員数からして管理職165名は多すぎると思うが。

市長 4町合併という事情もあり物事一気にいかない部分もあり私自身も今後次長職等々今後時機を見て管理職削減に取り組みたいと思います。

問 職員の評価システムの導入について。**市長** 管理職については20年・21年度に試行

済み。22年度から導入。一般職員については22年度から試行を始めていきたいと思えます。**問** 職員数の割に残業

手当が異常に多いのは何故か。**市長** 合併してから職



子どもたちに野球を教えている地域の指導者（阿万少年野球クラブ）

員適正化計画、また人事評価も出来るだけ根拠を的確にしないと職員の行動そのものも不信感に繋がる。従って評価をきっちり出来る体制をとっております。

まずは管理職の者から対応を正確にし、課の実情にあわせてお互いの評価の中で精査しながら一、二年のうちに残業時間の尚一層の削減に努力したいと思

います。**問** 現在多くの社会体育指導者が各種スポーツ全般にわたり、ボランティアとして青少年の健全育成に頑張っている。市としての対応は。

教育長 指導者の皆さんには常に敬意と感謝致しております。一度全体の中で何かを計画したいと思っております。

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員



人形会館入札不落?

問 人形会館建設に疑問。建設費試算・設計士の選出・特産の瓦を使わない?

しい。

教育部次長 事務協議を進めている。

問 建設には地元業者を。**副市長** 設計変更せず、

島内・県内業者が適切。旧保健所に予定地を変更しては。

副市長 変える気はない。

困。

問 秋田の子はやるべき事をやらなければ自分のしたい事は出来ないのをよく知っている。才能を引き出すための最大限の努力は。

教育長 家庭はあらゆる教育の原点、家庭に協力を得て活動を強める。

ゆるるはクラブ 柏木 剛 議員



人事評価システム

について

問 導入の目的は。

総務部長 能力に基づく

行、22年度

に本格実施。一般職は22

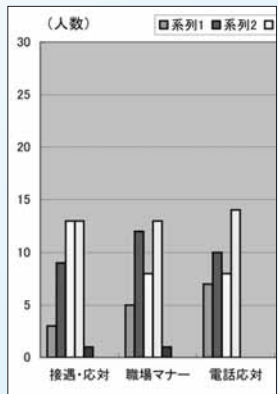
年度に試行。

問 他市の

状況は。

総務部長 平成20年4月のデータで、

全国地方公共団体で58・4%の実施率・評価結果



評価の集計グラフ(部分)

ンクで評価した結果、達成度S、Aが41・6%、Bが48・4%。



市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

施政方針について

問 生活弱者や高齢者への配慮とは。

市長 安心して暮らせる形は、生活そのもの自身。防災の関係、安心安全が今、行政に一番求められている。

問 人口減少、少子高齢化を食い止めるため、少子対策に力を注ぐ対策は。

健康福祉部長 今までなかなか取り組みが出来なかった、地域の中で子育てを応援するグループづくりに予算を計上した。

問 少子対策は有効か。

健康福祉部長 個人の判断ですが、子供が欲しい、結婚をしたい環境を醸成し、子供の数が増す理想を目指し、進めるのが行政として大切なこと。

新庁舎について

問 新庁舎と市民交流センターはセットか。

市長公室長 考え方はイコールだ。

問 庁舎と交流センターは切り離して考えられないのか。

市長公室長 分庁舎が廃止されると、市民サービスが低下。低下を招かないようにセットだと思ふ。

問 職員の削減と効率的な行政運営は、新しい庁舎でないとできないのか。

市長公室長 会議等で職員の移動でかなりのロスがある。職員の削減計画、スリム化への妨げになっている。



子育て学習・支援センターで遊ぶ親子



市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

淡路広域水道事業団について

問 平成11年本土導水が始まり本年4月1日より3市事業統合がされる事について。

市長 貴重な水資源を確保し淡路が一本で供給事業にと取り組んできた。統合は感慨無量。

問 淡路広域水道の事業費は。

上下水道部長 約500億が持ち寄り、広域が518億円です。

問 起債額は。

上下水道部長 企業団159億円、洲本市92億円、淡路市86億円、南あわじ市68億円です。
問 統合に当たって水道料金が改定された市



諭鶴羽ダム

全体で6000万円増。特に基本料金が700円から1100円。使用量の少ない方の負担が高くなるが。

上下水道部長 南あわじ市は従量料金に比重を置いた料金体系になっていた。住民税の非課

税世帯については1/3を減免する制度を残した。

問 市民の願いは安定的な水の供給・安心安全低料金です。

市長 努力している事がわかる様取り組んでいきます。



公明党 熊田 司 議員

今後の観光客増加策について

問 海外からの観光客の受け入れ体制は、準備

メニューなどを考えていく必要があるのではないかと考えている。

福祉タクシーの利用者範囲の拡大について

問 福祉タクシーを高齢者の通院にも利用できないか。

健康福祉部長 利用条

新庁舎の建設問題について

問 近年各分庁舎の修繕費が増加していると言われているが、どれぐらいかかっているのか。

市長公室長 現在では、電気代・維持管理費・



市民連合・無所属クラブ 蓮池 洋美 議員

連絡所及び支所について

問 丸山、阿那賀、伊加利、津井地区の人達

大事な事だと思っております。

問 辰美校区の4地区に事業の前倒しをして

市長公室次長 地域コ



福良の街並

の調査

務調査を行っています。
結果を報告します。

淡路市の総務部へ管外調査

2月16日午後、淡路市にて「総合事務所の機能縮小」について、委員6名、議会事務局、執行部同行のもと、調査・意見交換を行なった。

総務常任委員会

員適正化計画を上回る

消防団等）を行なう。
交代制で各事務所に配置し、住民の顔が見える場所で、これまでの経験を活かしていただき、市民サービスの向上を図る。

市民への説明
これまで、会とい

う会があるごとに市長以下の職員が地域へ出向き積極的に説明を繰り返してきた。財政状況も包み隠さず説明させていただいております。地域の方々は理解を示していただいていると考えている。持続可能な行政を行なうためにも説明し続けることである。



ゆづるはクラブ 原口 育大 議員

情報システムの安全性と更新計画は

総務部次長 市役所では140を超えるシステムが稼働しているが、日経新聞社のEランキングでは全国1481団体中で187位、県下では11位。特にセキュリティ対策では、県下で西宮市と芦屋市に並ぶ評価を得ている。更新は、庁舎建設も踏まえた中で無駄なく効率的に進める。

入札改革について

問 コンサル業務にも最低制限を設けるべきではないか。
財務部長 今後の検討課題として考えたい。



圃場整備における環境配慮事業(市西地区新ちやん公園)

これからの圃場整備事業について

問 制限つき一般競争入札の対象拡大と電子入札について業者への意向調査を行い、導入に向けてのスケジュール作成を。
財務部長 事務の効率化等を踏まえ、導入に向け取り組むべきと考

問 最近の圃場整備は環境配慮事業にも重点が置かれており、市西地区では3か所のピオトープ公園が整備されて喜ばれており、県民交流広場が中心となつてホタルの復活にも取り組んでいる。今後は地域の中での農業の多面的機能という部分が大事である。



正道・無所属クラブ 廣内 孝次 議員

防災カルテについて

問 地震の災害危険度判定が行われ、防災カルテが作られた。住宅密集地、地域内の燃えやすさ、道路閉塞の可能性の地図、防災上の地区整備の課題、問題解決に向けた方向性、特記事項で構成されているが防災カルテの目的は。
都市整備部長 都市の防災構造化や住民の防災に対する意識の向上。地域の災害の危険性に対する認識を深め、住民主体の防災まちづくり活動の機運を高める。
問 孤立集落対策は救援が届くまでの間、自立的に持ちこたえるこ

とを前提に必要な装備物資の事前配置、防災拠点の整備など、環境整備を行うとなつているが。
都市整備部長 地域防災計画の中で対応する。
問 上田池ダムが決壊した場合のことが指摘されているが。
農業振興部次長 阪神淡路の地震までは耐えられる。
問 要援護者避難体制の構築の必要性が指摘されているが。
健康福祉部長 住宅地図でひとり暮らし老人、障害を持つ方々のお宅の図面化は完了。



防災カルテ（福良地区）

問 防災カルテは、子供からお年寄りまで簡単に正確に理解できるような工夫が必要だが。
都市整備部長 状況を見きわめ検討する。
問 災害の人的被害は知識不足が大きな要因であるので市民に対してもっと啓蒙が必要である。

文教厚生常任委員会

学校給食、学校統合の管外調査

2月4日～5日にかけて学校給食、学校統合に関して宍粟市・神河町・香美町へ視察を行った。

◆神河町

●減農薬等での農家の採算性。

▽視察目的 学校統合に関すること

▽大河内・神崎中学校の改築・統合について

現大河内中学校で敷地を拡張し、1中学校として改築・統合する。

▽栗賀・大山小学校の統合について

両小学校校舎の老朽化対策と教育環境の整備及び生活圏、地理的条件を基本に考え、現神崎中学校の跡地で統合小学校・幼稚園を改築する。

▽質疑等

●部活の終了時間とバス時刻表の調整について、生徒の送り出し時間を決めて対応。コミバスの充実とダイヤ組み換えを行った。

●地元での説明会の開催については、平成19年度8会場、平成20年度12会場、平成21年度2会場、そのほか地域の要請に応じ小規模校単位の説明会を5回開催。

●1クラスだといじめに対応が難しく転校することになることもある。クラブ活動の問題等、小規模校は閉鎖的となることも問題。統合するに当たっては、良い環境で、良い教育をとるという一本筋を通す。

◆香美町

▽視察目的 学校統合に関すること

▽村岡区3中学校統合について

平成17年4月13日に合併した香美町において、学校の規模について村岡区内小中学校の保護者及び自治会長に意見を聴

取。その結果、学校統合を望む声が多かったことから、円滑に推進するため村岡区3中学校統合検討委員会を設置し学校統合に伴う下記4項目について検討。

①統合中学校の位置に関すること
②統合に伴う施設整備に関すること
③通学に関すること
④統合の時期に関すること

▽質疑等

●行政主導でなく地域の盛り上がりを見て進めることが大事。
●小規模校は単一クラスのため人間関係の固定化が問題、最低クラス替えができて

る規模とすることが大事。

●統合検討は、市内の小中学校全体の統廃合について検討を進めるべきで、問題となっている地域内だけで統廃合を進めようとすると地域のエゴなどによりうまくいかないケースが多い。

◆宍粟市

▽視察目的 学校給食に関すること

宍粟市全体では4376食/日を調理、平成20年度は食材の71%が市内産。毎月19日を「食育の日」として地元産食材100%の給食を実施している。

▽宍粟市の学校給食のこだわり

①主食はご飯。
JAより地元コシヒカリ、キヌヒカリを購入。
②野菜は旬のものを

▽課題等

●天候等により作柄が左右される。
●規格を揃えることが難しい。

豆腐、油揚げは地元産大豆を使用。

▽質疑等

●部活の終了時間とバス時刻表の調整について、生徒の送り出し時間を決めて対応。コミバスの充実とダイヤ組み換えを行った。

産業建設常任委員会

4月14日、委員会室で所管事務調査を行い、その後、市の観光拠点である渦潮観光の視察を行った。

所管事務調査の主な質疑

金について。
答 兵庫県・徳島両県知事が国土交通省への

与党民主党に陳情をおこなった。新料金での観光客等の動向は、状況を見て対応したい。

問 鳴門海峡での衝突による貨物船の沈没事故の被害状況は。

答 沈没した日進丸は空船状態であったが重油流出により、一部ノリ養殖に被害がでた。それに対する保険金は、双

●地元での説明会の開催については、平成19年度8会場、平成20年度12会場、平成21年度2会場、そのほか地域の要請に応じ小規模校単位の説明会を5回開催。

●1クラスだといじめに対応が難しく転校することになることもある。クラブ活動の問題等、小規模校は閉鎖的となることも問題。統合するに当たっては、良い環境で、良い教育をとるという一本筋を通す。

▽質疑等

●部活の終了時間とバス時刻表の調整について、生徒の送り出し時間を決めて対応。コミバスの充実とダイヤ組み換えを行った。

●昨年年度は、588頭捕獲したが、今後も継続して捕獲していく。被害軽減のため、平成21年度は9地区で12km、22年度も9地区で10kmの防護柵を計画している。

問 今年度の土地改良事業予算および農地・水・環境保全向上対策。

答 現在、国の予算で

取。その結果、学校統合を望む声が多かったことから、円滑に推進するため村岡区3中学校統合検討委員会を設置し学校統合に伴う下記4項目について検討。

●行政主導でなく地域の盛り上がりを見て進めることが大事。
●小規模校は単一クラスのため人間関係の固定化が問題、最低クラス替えができて

▽質疑等

●観潮船を運航。所要時間、約1時間。
●料金、大人2千円、子ども千円。
●船内には、咸臨丸の歴史を綴ったパネル、道具等を展示した資料室があり、渦潮のメカニズムを説明す

るビデオも放映。

●船上から眺める淡路島の遠景、真近に見る大鳴門橋の景観はすばらしい。

●海が川のように音を立てて流れ、渦巻く光景は、正しく類まれな奇観である。



▲宍粟市の学校給食について調査

鳴門の渦潮は、

るビデオも放映。
●船上から眺める淡路島の遠景、真近に見る大鳴門橋の景観はすばらしい。
●海が川のように音を立てて流れ、渦巻く光景は、正しく類まれな奇観である。

議会広報広聴特別委員会

視察報告

議会広報広聴特別委員会では、2月15日、香川県東かがわ市、徳島県小松島市へ視察研修を行なった。

研修の目的は「議会だより」をもっと読みやすく、理解されやすいものにするにはどうすればいいのか、また同時に市民に開かれた議会づくりのために、広報はどうあるべきかなどを、より深くつかむことを目的として実施した。

千人。全国の90%を占める手袋産業、はまち養殖の発祥地として知られる。

当日は市長、議長にもお迎えいただき、和やかなうちに約2時間、意見交換、情報交換を行なった。

「議会だより」の特徴は▼写真を多く盛り込み、全頁カラーを採用、読みやすさを意識してきたこと▼一般質問は各自半頁を割り当て、質疑内

◆東かがわ市

東かがわ市は香川県の東端に位置し、平成15年4月旧引田町、旧白鳥町、旧大内町が合併し誕生、人口3万4

の特色は▼写真を多く盛り込み、全頁カラーを採用、読みやすさを意識してきたこと▼一般質問は各自半頁を割り当て、質疑内



▲東かがわ市議会で意見交換

容がよりリアルになるよう改善▼各議案への議員別の賛否表決を平成19年より記載、公開を始めた。住民の意思を反映しているかの見方で概ね好評であった、等々を話し合った。

◆小松島市

小松島市は屋島に逃れた平氏を討つために源義経が小松島より上陸したという義経伝説や、阿波狸合戦、金長

狸民話などで知られ、かつては関西から四国への玄関口で繁栄した市。

昭和26年市制を施行、人口4万1千人。

午後は小松島市へ移動し、議会議長はじめ、広報委員会委員に加え、議会基本条例策定に中心的に活動された議員も参加し、意見交換、情報交換を行った。

当市の「議会だより」は、▼開かれた議会を目指しということでの「議会基本条例制定」に関する記事、さらには▼「事務事業評価」に関する情報に多くの頁を割いているのが特徴的であった。

「事務事業評価」は議会の決算審査時、約30事業の目的、経費の分析等を通して成果や課題・問題点及び改善策を把握し、評価シートで必要性、妥当性、効率性、緊急性等から事

業を評価し、それぞれの事業を拡充・継続、改善・縮小、終了・休止、廃止で評価、議会より執行部に提示する。そして、それが次の予算時、どう反映されたかを確認するサイクルで、市民に公表している。

また、当市では議会基本条例の規定に基づ

き▼「議会報告会」を市内6箇所の公民館等で定期的に実施しており、議会及び行政全般について要望や提言を受けたいとのこと。地理的に近く、親近感をお互い感じつつのなかで、多くの有益なものを得た意見交換会であった。



▲小松市議会で情報交換

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会の進め方

調査の指針として、工程表と議会改革体系表を作成、委員会決定事項は、議員協議会での報告と承認を経て、

第1回の主な答申内容

● 予算と決算の審査特

速やかに実施に移すように議長に対して答申する。

別委員会は、議長を除く全議員を委員として試行する。

が多く見受けられ、今後の進め方に対して大変参考になった。

● 議長交際費、政務調査費のHP、議会広報紙での公開は、平成22年度分からの実施とし、必要な条例改正を行う。

● 委員会視察終了後は委員会として視察報告書を提出する。

内容等

委員、委員長、副委員長を選出。

協議、工程表を確認。議会運営・市民参加・議に分類して体系表に整理し

新規検討項目を体系表に追

終了、議員協議会への報告

報告し、承認された事項を



第32回南あわじ市議会定例会日程（6月）

◆開会はすべて午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 6月9日(水)	1. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 2. 平成22年度南あわじ市一般会計、特別会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 3. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日 6月14日(月)	1. 一般質問
第3日 6月15日(火)	1. 一般質問
第4日 6月16日(水)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日 6月17日(木)	
第5日 6月28日(月)	1. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



会議日	会議内容
6月21日(月)	総務常任委員会
6月22日(火)	文教厚生常任委員会
6月23日(水)	産業建設常任委員会

- ①南あわじ市ホームページを開く
- ②メニューの『議会情報』をクリック



- ③『インターネット中継』をクリック

ここをクリック!!

ここをクリック!!



- ④アドレスをクリック

ここをクリック!!



編集後記

先日、アジア国際子ども映画祭事業説明会で、杉良太郎氏の話を聞きました。事業の内容、目的について経験談を交えながら説明され、現代において子どもの教育がいかに重要であるかという話でした。

子どもからお年寄りまで理解できるように難しい言葉を使わず、気持ちの良い間の取り方で話されていたのが、特に印象に残りました。思いや感動を活字にして伝えることは大変難しいことです。

これからもより分かりやすい広報紙のあるべき姿を研究しながら委員一同、頑張っていきたいと思えます。

（廣内）